

2026年2月5日
社会体育施設等の地域スポーツ活動拠点化セミナー

地域スポーツ活動の政策評価： 非市場価値をどのように測るのか

 中京大学
CHUKYO UNIVERSITY

スポーツ科学部
舟橋弘晃

本日の講演内容

- ▶ スポーツの「非市場価値」という考え方について
- ▶ スポーツの非市場価値を金銭的に評価する手法
- ▶ 具体的な研究事例

舟橋 弘晃 (ふなはし ひろあき)



専門

- ▶ スポーツ経済学

主な社会活動（スポーツ施設関連）

- ▶ (株)愛知国際アリーナ (IGアリーナ運営会社) 第三者諮問委員
- ▶ (公財) 名古屋市教育スポーツ協会 評議員
- ▶ スポーツ庁 多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ 審査委員
- ▶ Jリーグ 欧州スタジアム視察2017、米国スタジアム視察2024、2025 視察メンバーほか

地域スポーツ施設の政策評価の現状

- 地域スポーツ施設の運営評価は、多くの自治体において、指定管理者制度に基づく毎年度のモニタリング評価と、行政評価による行政資源の有効活用の検証を中心に行われている。

● 主な成果指標（例）

利用実績、事業実施状況、管理運営状況、収支・コスト指標、利用者満足度

- 現行の評価は、「事故なく」「大きな苦情なく」「計画・仕様書どおりに管理運営できたか」といった運営状況や実績の確認を中心とする評価体系となっている。

名古屋市天白スポーツセンターの管理運営状況

1 基本情報		＜所管局：スポーツ市民局＞		
指定管理者	TAC・テルウェル共同事業体			
主な業務内容	名古屋市天白スポーツセンターの管理運営			
評価対象期間	令和6年4月～令和7年3月	指定管理期間	令和6年4月～令和10年3月	
2 評価結果				
	評価項目	評価 区分	特記事項	
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	トレーニング室 掲示物リニュー アル時に、ダン ベル使用エリア 表示がされてい ない期間があっ た
	(2) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(3) 職員体制	職員の配置、勤務、労働環境等は適切か。	○	
	(4) 法令等の遵守	法令、指図書等を遵守しているか。	△	
	(5) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	外注に頼らない 修繕を実施した
	(2) 修繕の実施	状況に応じた適切な修繕が実施されているか。	◎	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績をあげているか。	○	トレーニング室 の閉室時間を 30 分早めた。 利用者からの意 見に対し速やか に対応し、問題 の解決を図った
	(2) 事業実施状況	計画通り事業が実施されているか。	○	
	(3) 自主事業	利用促進のための取り組みを実施しているか。	◎	
	(4) 広報・PRの実施	新規利用者を増やすための広報・PRに取り組んでいるか。	○	
	(5) 接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○	
	(6) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	◎	
	(7) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて対応しているか。	○	
	(8) 自己評価	事業の評価と改善に取り組んでいるか。	○	
	(9) スポーツ教室・講座	スポーツ教室・講座の参加率。	○	
	(10) 地域交流	地域におけるスポーツ振興事業に取り組んでいるか。	○	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 効率管理	管理経費が縮減されているか、縮減の努力がなされているか。	○	

評価シートの例

出典：名古屋市 令和6年度点検評価実施結果（スポーツ市民局分） 名古屋市スポーツセンター（「年度評価」及び「施設の現状」）

政策目標と評価指標の乖離

スポーツ振興が目指すものとは...

- スポーツ基本法（前文）：

「スポーツを通じて**幸福で豊かな生活**を営むことは、全ての人々の権利であり、（中略）多様な国民一人一人が生きがいを持ち**幸福を享受**できるようにするとともに、**豊かさを実感できる**社会の実現が図られなければならない」



公の施設とは...

- 地方自治法（第244条第1項）：

「住民の**福祉を増進**する目的をもってその利用に供するために地方公共団体が設ける施設」

地域スポーツ（施設）は、幸福感の向上や住民福祉の増進といった「**社会的便益**」の創出を目的としている。一方、現行の評価は、利用実績や運営の適切性の確認が中心であり、こうした数値として表れにくい価値を十分に捉えられていない。

スポーツ振興の政策目標
公の施設の設置目的

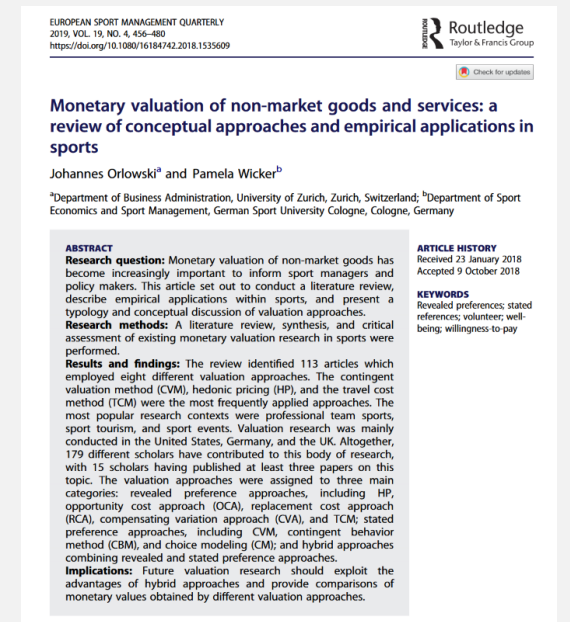
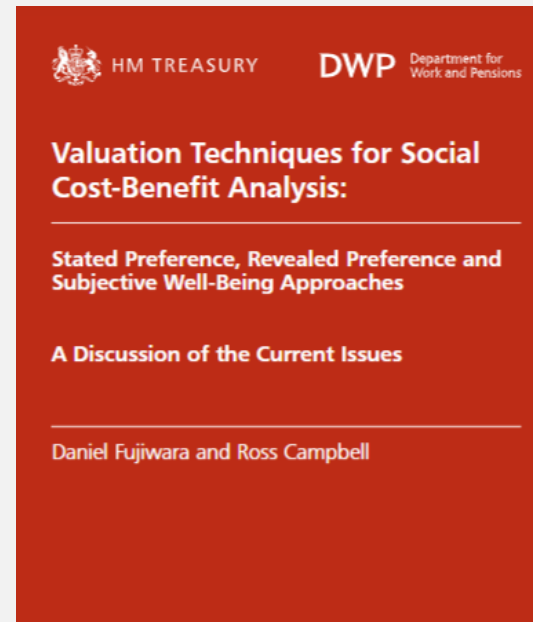


現行の評価体系

政策評価における「非市場価値評価法」の展開

- ▶ 2010年以降、従来の評価では捉えにくかった社会的便益を評価に組み込むため、非市場価値評価法が政策評価に導入・整理されている（特に英国）。
- ▶ 政策効果を金銭単位で把握することで、社会的費用と便益を比較する費用便益分析が可能となる。
- ▶ 近年、スポーツ分野においても非市場価値評価法を用いた学術研究が増加し、スポーツイベント、スポーツ施設、スポーツ参加、スポーツボランティア等の価値が金銭的に評価されている。

*非市場価値とは、市場で取引されず、価格が存在しないため、市場価格からは直接把握できない価値。



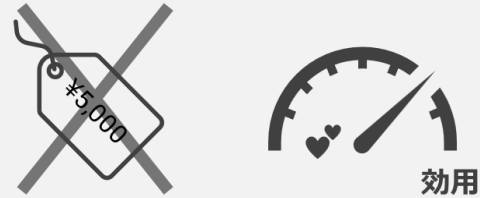
英国財務省による非市場価値評価法についての報告書（左）
スポーツ領域におけるレビュー論文（右）

出典：Fujiwara, D., & Campbell, R. (2011). Valuation Techniques for Social Cost-benefit Analysis. HM Treasury.; Orłowski, J., & Wicker, P. (2019). Monetary valuation of non-market goods and services: a review of conceptual approaches and empirical applications in sports. *European Sport Management Quarterly*, 19(4), 456-480. <https://doi.org/10.1080/16184742.2018.1535609>

価格では測れない価値をどう考えるか？

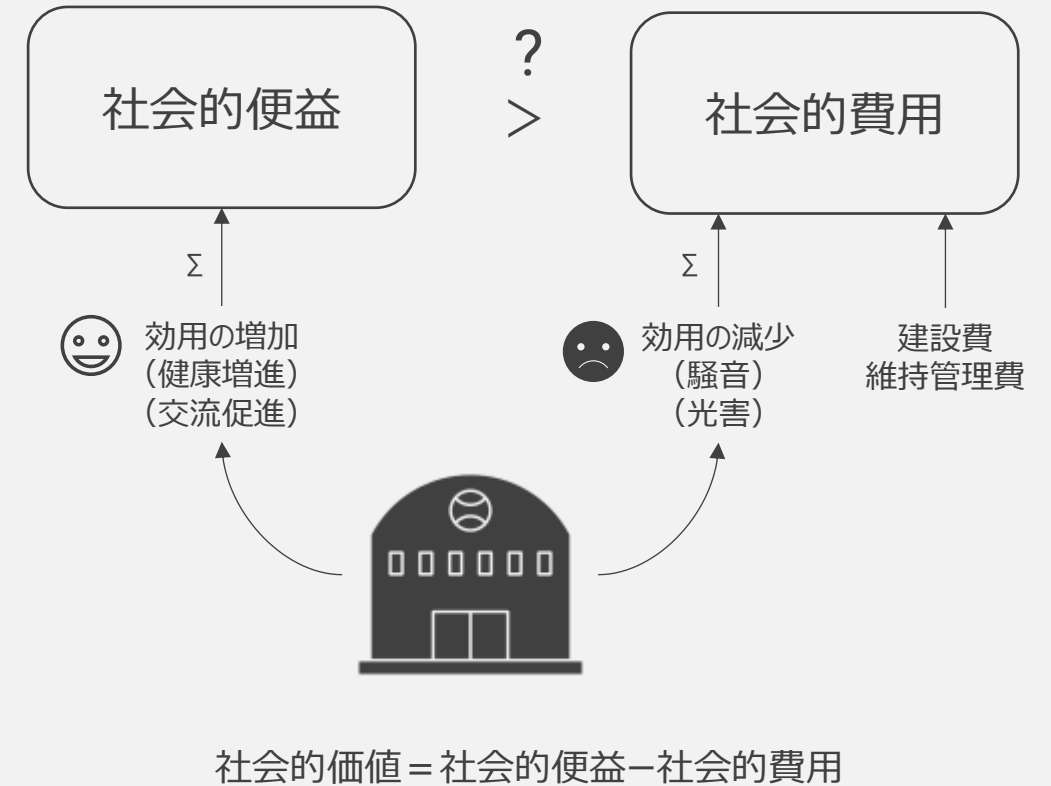
▶ 日常でいう価値は、商品やサービスが市場で取引される際の「**価格**」を指す。

▶ 経済学では価値を人々の「**効用（満足度）の変化**」として捉え、市場価格では十分に捉えられない財や便益も評価対象とする。



▶ 地域スポーツ施設を例にすると：

- ・健康増進・交流促進→効用が向上→正の価値（便益）
- ・騒音・光害→効用が低下→負の価値（費用）



効用変化を測る経済尺度：支払意思額（WTP）

- 政策の社会的便益と費用を比較するためには、効用の変化を金銭的に換算して捉える必要がある
- 効用の変化を金銭で表す理論的な尺度として、**補償変分（CV）**と**等価変分（EV）**が用いられる
- 支払意思額（WTP）**は、効用の変化を金銭で表現したものであり、非市場価値を測る基本的指標である*

*正確には受入補償額（WTA）も存在するが、ここでは割愛する

補償変分（CV）

- 新スポーツ施設の整備後に得られる効用を、整備前と同じ水準に保つために、個人が最大で支払える金額

$$\text{効用} \left(\text{◇} \right) = \text{効用} \left(\text{🏠} - \text{🎫} \right)$$

新スポーツ施設なし 新スポーツ施設あり **CV = WTP**

等価変分（EV）

- 既存スポーツ施設が廃止される前の効用水準を、廃止後と同じ水準に維持するために、個人が最大で支払える金額

$$\text{効用} \left(\text{🏠} - \text{🎫} \right) = \text{効用} \left(\text{◇} \right)$$

新スポーツ施設あり **EV = WTP** 新スポーツ施設なし

支払意思額（WTP）の特徴

1. 効用（満足度）の変化に対応

- ▶ スポーツ施設整備による満足度の増加が大きいほど、WTPは大きくなる。

3. 市場価格ではない

- ▶ 利用料や会費ではなく、その人がどれだけ価値を感じているかを金額で表した指標である。

5. 集計することで社会的便益を把握できる

個人のWTPを地域人口で集計することで、地域全体としての便益（社会的便益）を金額で整理できる。

2. 個人によって異なる

- ▶ 日常的に利用する人と、ほとんど利用しない人では、同じ施設でも評価は異なる。

4. 非利用価値も含まれる

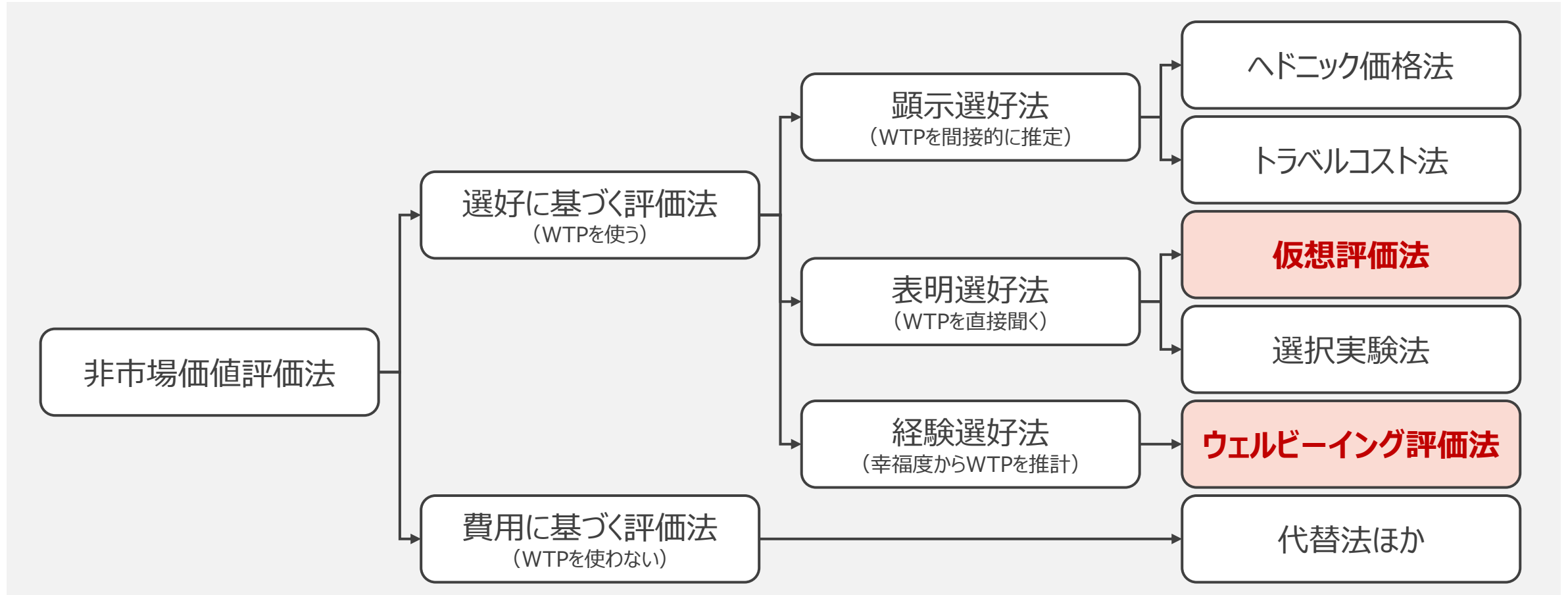
- ▶ 自ら利用しなくても、地域にスポーツ交流拠点が存在すること自体に価値を見いだす場合がある。

6. 比較の前提が重要

- ▶ 現在の状態と変化後の状態が厳密に定義されなければ、経済学的価値（補償余剰・等価余剰）を評価したことにならない。

WTPは、地域スポーツ（施設）の価値を貨幣単位で整理できる尺度であり、福祉増進という公共目的とも整合的である。

非市場価値評価手法の類型

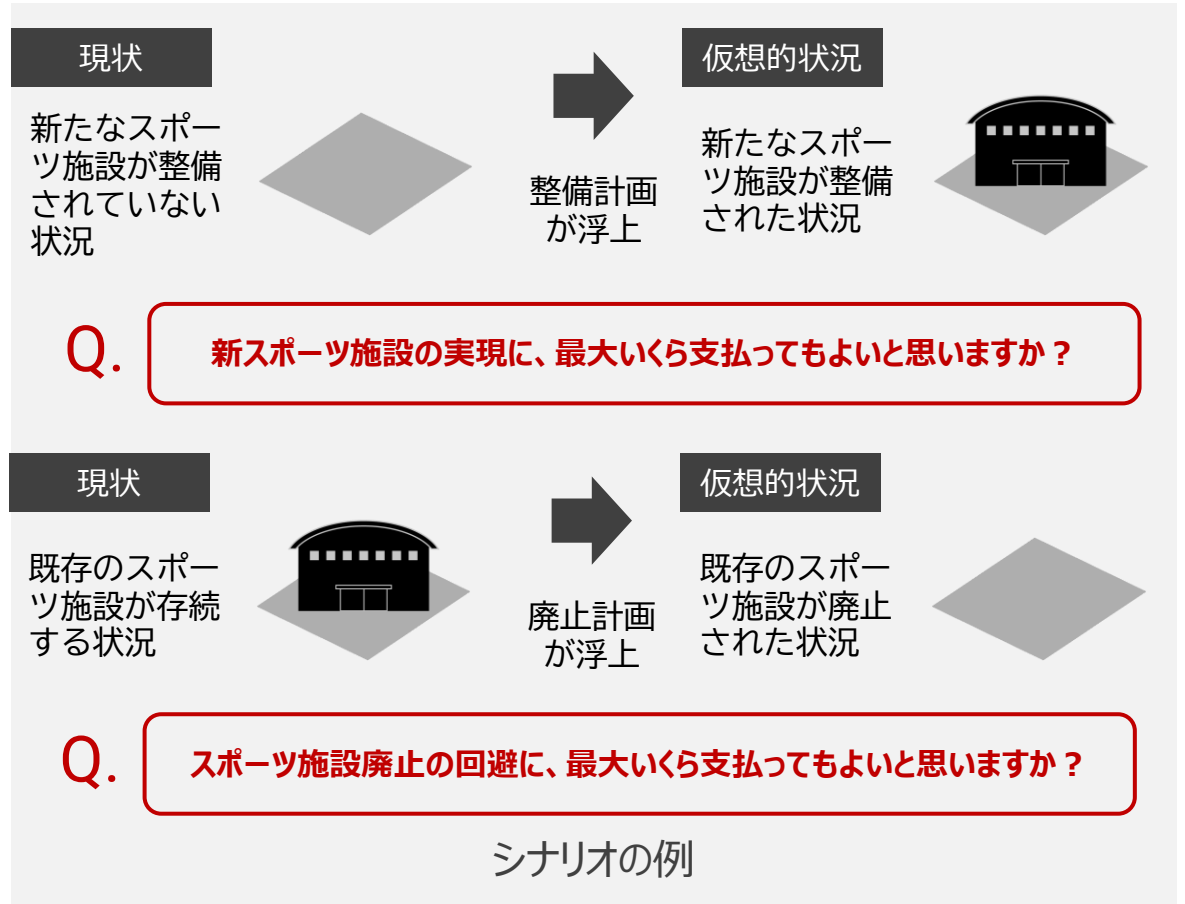


1

表明選好法
仮想評価法

仮想評価法とは...

- ▶ 回答者にシナリオ（状況変化を記述した仮想的説明）を提示し、WTPをアンケート調査により直接聞き出す手法
- ▶ 市場価格のないあらゆる財に適用でき、非利用価値も含めて評価することが可能という利点を持つ
- ▶ バイアスが発生しやすいため、妥当なWTPを得るためには、支払手段（税金、寄付金、負担金など）、支払期間、回答方式（自由回答方式、支払カード方式、二肢選択方式など）などの設問内容を慎重に設計する必要がある



総合型地域スポーツクラブの社会的便益はいくら？



リサーチクエスチョン

- 総合型地域スポーツクラブの草分け的クラブであるソシオ成岩スポーツクラブ（ソシオ成岩SC）の社会的便益は、貨幣換算するとどの程度か？

データと分析手法

調査対象

クラブ会員・ビジター（n=299）、非利用者である半田市民（n=441）

調査項目

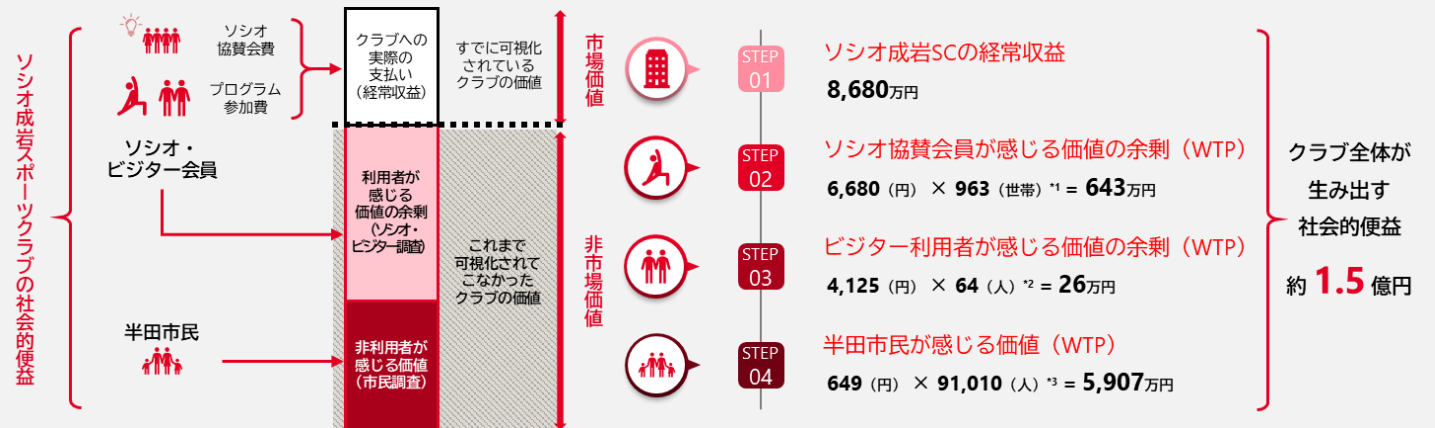
クラブ活動の1年間停止という事態を回避するためのWTPほか（クラブ会員については追加的WTP）

分析手法

WTPの推計と価値分類別の内訳分析

主要な分析結果

- ソシオ成岩SCの社会的便益は市場価値と非市場価値を合わせて約1.5億円と推計された。
- 利用者（ソシオ・ビジター）は、実際の支払額に加えて追加的なWTPを有しており、消費者余剰として約670万円の非市場価値が確認された。非利用者である半田市民においても、クラブの存在に対するWTPが確認され、約5,900万円の非利用価値が推計された。
- ソシオのWTPのうち、約4割は非利用価値（利他的価値など）で構成されていた。
- WTPはクラブミッションへの共感と有意な関係を持ち、推計結果の妥当性が支持された。



出典：舟橋弘晃ほか. (2025). クラブの社会的、経済的インパクトに関する調査報告書. ソシオ成岩スポーツクラブ クラブの社会的、経済的インパクトに関する調査研究委員会.

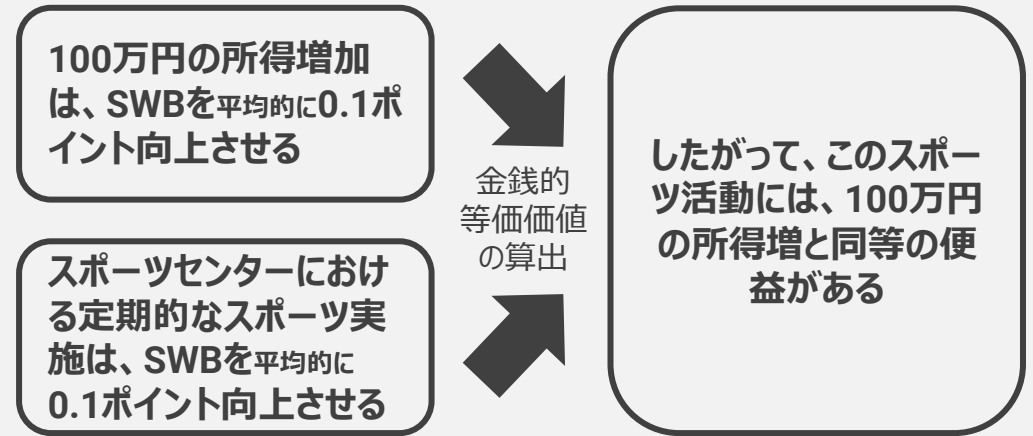
2

経験選好法
ウェルビーイング
評価法

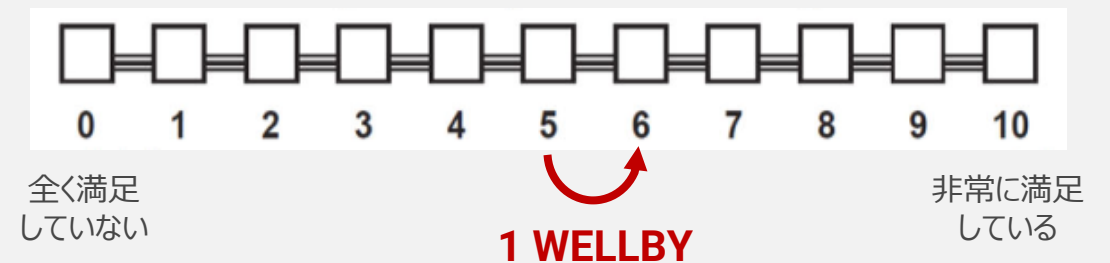
ウェルビーイング評価法とは...

- ある活動によって生じる主観的ウェルビーイング（SWB）の変化を、同等の変化を得るために必要な追加所得額に換算し、社会的便益を金銭的に推定する手法（Fujiwara & Campbell, 2011）
- この手法は、人々の実際の経験に基づく効用変化を捉えるため、代替的な市場財の設定や仮定的な支払意思額に依拠しない点に特徴（Fujiwara & Campbell, 2011）
- この考え方を基に、主観的ウェルビーイングの1年分の変化を単位とする WELLBY*が定義され、政策の効果測定に利用されている
- 英国財務省「Green Book」において、WELLBYを用いた社会的費用便益分析の活用が推奨されている（HM Treasury, 2022）

*主観的ウェルビーイング（通常は生活満足度0-10尺度）の1ポイントの変化が1年間持続した状態を1単位とする指標



あなたは**全体として**現在の生活にどの程度満足していますか？



出典：Fujiwara, D., & Campbell, R. (2011). Valuation Techniques for Social Cost-benefit Analysis. HM Treasury.; HM Treasury. (2022). The Green Book: Appraisal and Evaluation in Central Government. London: HM Treasury.

スポーツ活動はの社会的便益はいくら？

リサーチクエスチョン

- 多様なスポーツ活動がもたらす主観的ウェルビーイングの変化は、金銭価値に換算するとどの程度と評価できるのか？

データと分析手法

調査対象

全国の18歳以上のアンケート調査モニター (n=3,147)

調査項目

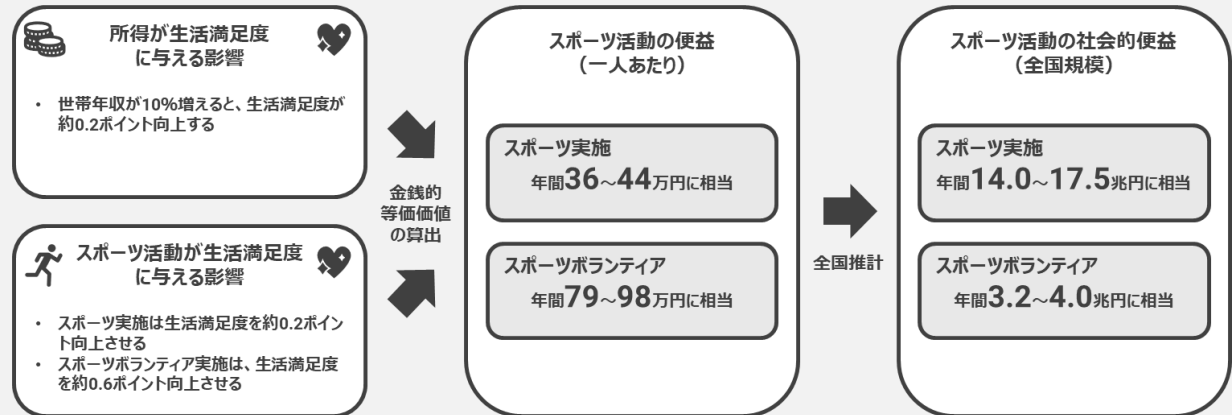
生活満足度、スポーツ活動（実施、観戦、ボランティア、公営競技投票）、個人属性等

分析手法

スポーツ活動が生活満足度に与える影響(β)を推定

主要な分析結果

- スポーツ実施は生活満足度を約0.2ポイント高め、年間36~44万円の便益に相当。スポーツボランティアは生活満足度を約0.6ポイント高め、年間79~98万円と推計された。
- スポーツ観戦と公営競技投票については、生活満足度への有意な影響は確認されなかったが、身近なスポーツ観戦では正の効果が認められた。
- 国全体で集計すると、スポーツ実施は約14~17兆円、スポーツボランティアは約3~4兆円規模の社会的便益を生み出していると推計される。
- 1 WELLBY（生活満足度が1ポイント上がった状態が1年続く価値）＝約200万円



出典：舟橋弘晃. (2025). 多様なスポーツ活動の社会的価値: ウェルビーイング評価法による金銭価値の算出. 2024年度笹川スポーツ財団 調査報告書. https://www.ssf.or.jp/files/SSF_CR2024_hf_r2.pdf

まとめ

- ▶ 既存の評価体系では、地域スポーツ施設の建設・維持管理が、市民の幸福や福祉増進に寄与しているのか捉えきれていない
- ▶ 近年、仮想評価法やウェルビーイング評価法を用いたスポーツ財の非市場価値について知見が蓄積されている
- ▶ 非市場価値評価法は、スポーツ政策への資源配分を考える上で重要な役割を果たす可能性があり、今後実際の政策評価に活用されることが期待される（守りの評価から攻めの評価へ！）



ご清聴ありがとうございました。

✉ **h.funahashi@sass.chukyo-u.ac.jp**

 [@funahashi_hiro](#)